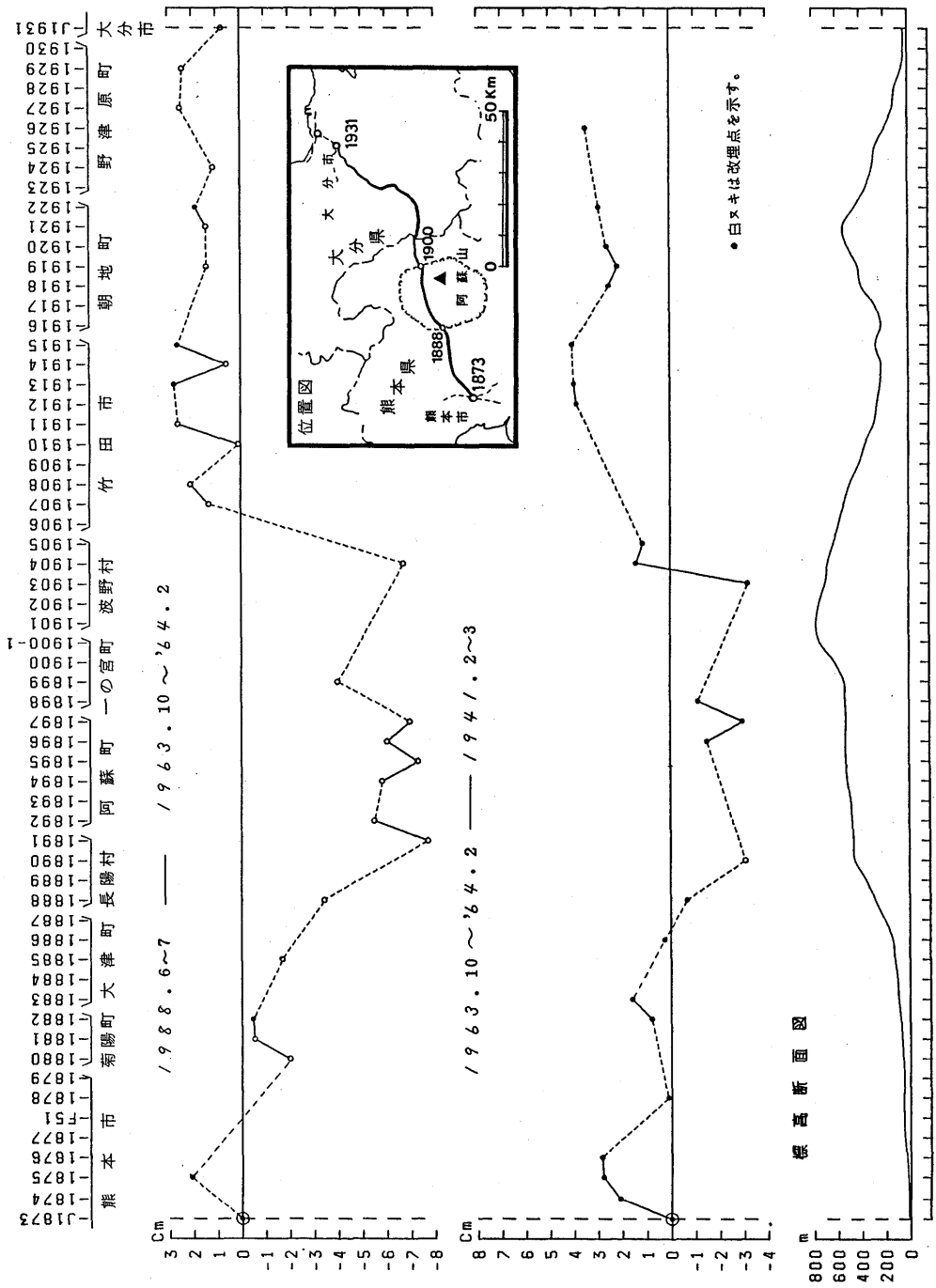


阿蘇カルデラの上下変動*

国土地理院

1988年6～7月に、熊本から阿蘇カルデラを横断し、大分に至る水準路線の改測を実施した。第1図上段は、今回の測量結果と前回1963年10月～1964年2月の測量結果との比較による25年間の上下変動である。カルデラを中心として最大8 cmの沈降がみられる。カルデラ内の水準点は全てが改埋点であるが、このうち1891～1895と1899は、前回の測量時に再設されたものであり、25年間の変動を示していると考えられる。下段は、1963年～1964年の測量と1941年の測量との比較により得られた22年間の上下変動である。この期間もカルデラを中心とした沈降がみられるが、その量は4 cm以下である。期間の長さはほぼ等しいので、最近になって沈降の速度が増したようである。

* Received Dec. 16, 1988



第1図 熊本から大分に至る水準路線の上下変動。不動点は交1873（熊本市）。上段は、1963年11月～1964年2月から1988年6～7月。下段は、1941年2～3月から1963年11月～1964年2月。

Fig. 1 Elevation changes along the leveling route from Kumamoto to Oita referred to J1873 in Kumamoto. The upper denotes that during the period from 1963~64 to 1988, and the lower indicates that during the period from 1941 to 1963~64.